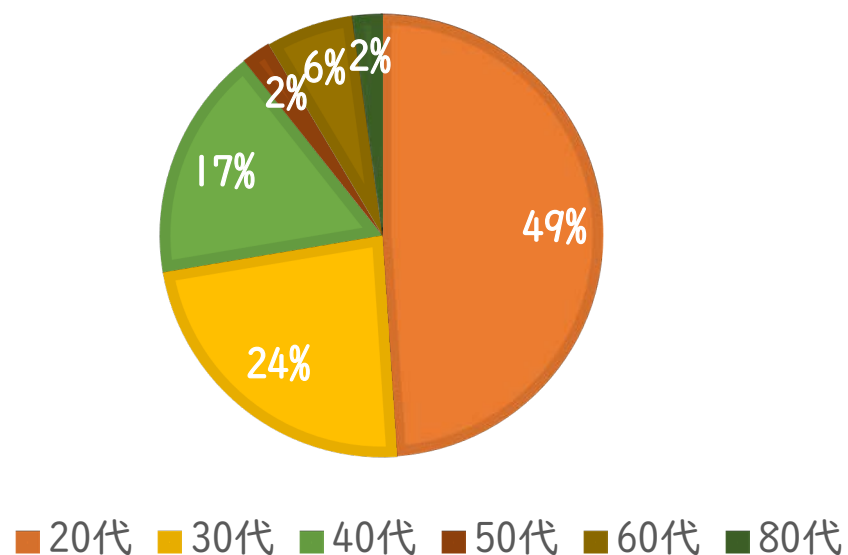


「令和6年度医学生、研修医をサポートするための会」 アンケート結果

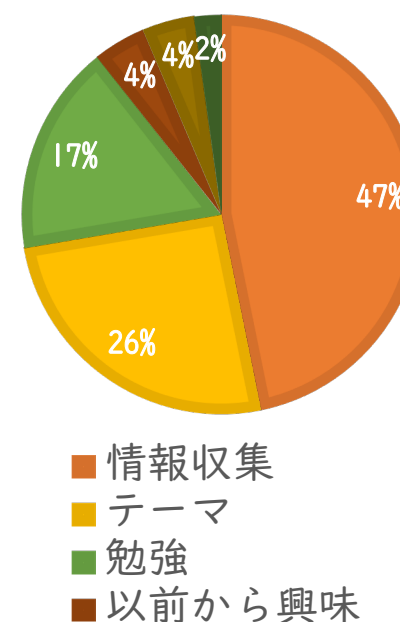
日本消化器外科学会 男女共同参画委員会

- 登録者 163名（医学生・研修医 83名）
- 参加者 93名（医学生・研修医 56名）
- アンケート回答者 47名（29%）
うち、医学生（5・6年生）13名、初期臨床研修医1名

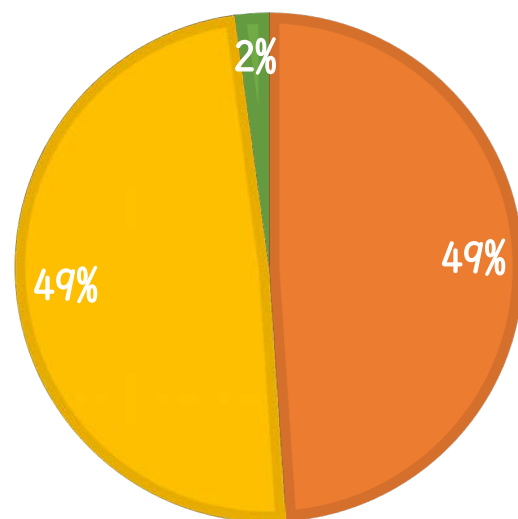
回答者



参加のきっかけ

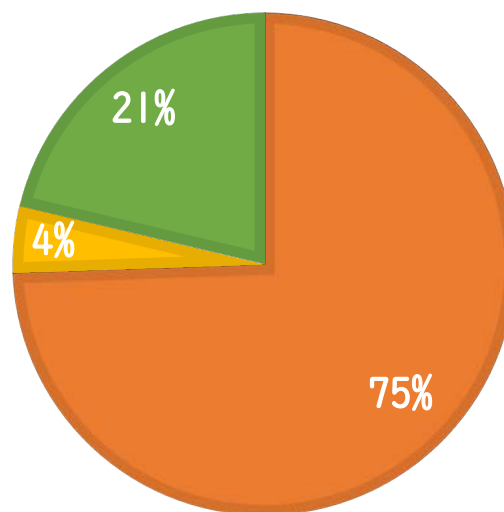


満足度



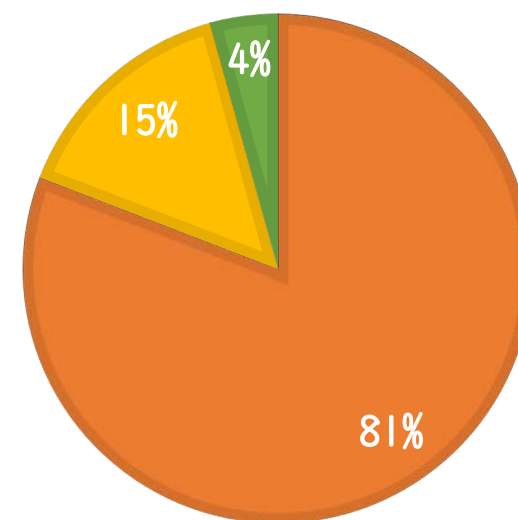
■ とても良かった ■ 良かった ■ 普通

将来の進路を考える上で、
役立ちましたか



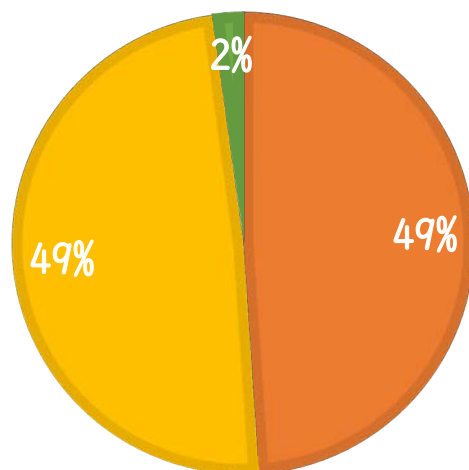
■ はい ■ いいえ ■ どちらでもない

2時間の開催時間について



■ ちょうどいい ■ 長い ■ 短い

満足度



■ とても良かった ■ 良かった ■ 普通

満足度の理由

貴重な話を聞いた

さまざまな先生方の貴重なお話を聞くことができ、とても勉強になった。
自分が抱えていた不安や悩みを解消するための具体的なアドバイスを得ることができた。

実務に役立つ情報

手術の勉強法やキャリアアップのために実際に役立つ情報を得ることができた。
臨床と研究の両立について、自分にマッチしたアドバイスを得られた。

女性医師への配慮とサポート環境

女性医師が活躍しやすい環境づくりが進んでいると感じ、安心感を得た。
医学生や研修医をサポートしようとする温かい雰囲気を感じた。

多角的な視点からの学び

様々な視点からの話を聞いたことが、非常に有益で視野が広がった。
他の施設の修練やダイバーシティに対応した組織形成など、興味深いテーマを学ぶことができた。

外科医としての不安解消

外科医として働く場合の不安に対する解決策やアドバイスを、経験者から得ることができた。
女性外科医としての働き方について、悩んでいたことが解決できた。

キャリア形成に役立つ情報

若手外科医やキャリアアップに関する話を聞き、参考になった。
今後のキャリアに役立つ情報が豊富で、実践的な学びが得られた。

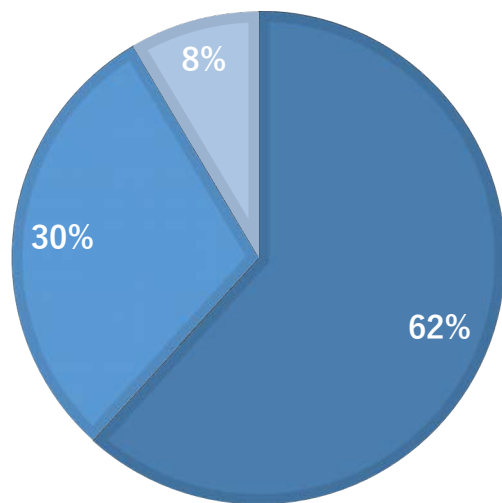
手術に関する学び

手術に参加する際にどう学ぶべきか、具体的なアドバイスを得ることができた。

実生活に役立つアドバイス

女性医師の家庭と仕事の両立に関する具体的な話を聞くことができ、非常に参考になった。

参加されて消化器外科，女性医師支援，ライフワークバランス，男女共同参画に対する意識は変化しましたか。



- 意識が上がった
- 少し上がった

意識変化の理由

ライフ・ワークバランスの重要性の認識、今後の働き方に対する不安の解消

外科医としての働き方におけるライフ・ワークバランスが重要であると理解した。

今後の働き方に悩んでいたが、少し悩みが解消された。

女性医師のライフスタイルや子育てについて具体的なイメージが湧き、漠然とした不安が解消された。

女性医師の活躍の場の改善

女性外科医の気持ちがセミナーを通して理解が深まった。

女性医師が活躍する環境が進んでいると感じたが、依然として「スーパーウーマン」的な印象が強い。ハードルを徐々に下げる必要性を感じた。

自己研鑽と手術参加の重要性

若手医師に臨床や研究への興味を持たせる方法について学んだ。

外科医としての自己研鑽方法や手術に参加する際に何を見てどう吸収すべきかが具体化され、今後の成長に役立つヒントを得た。

今後の仕事や生活で取り組んでみようと思える内容があった。

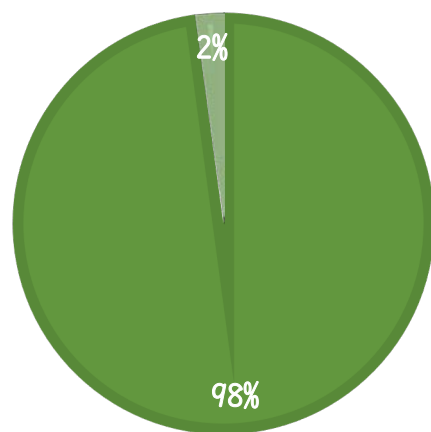
管理職クラスの意識改革の必要性、働きやすい職場作りの役割

管理職クラスの先生方の意識改革が必要であると認識した。

働きやすい職場環境を整えるのがその世代の役目、責任だと感じた。

社会全体として男女共に働きやすい環境を作ることが求められており、医療界でもその動きがあることを再認識した。

今後もこのような活動は必要
だと思いますか。



■ 必要 ■ どちらとも言えない

今後もこのような活動が必要だと考える理由

オンラインのアクセスの利便性

オンラインでどこからでも誰でも参加できることに意義がある。

悩みを共有する場の必要性

同じ悩みを抱える外科医を目指す女性が多いため、このような場が必要。

女性医師の特に月経については男女ともになかなか正しい知識を得る機会がないと思うので、全ての学生が知っておいていい内容であった。

サポートと相談の重要性

周囲が支援する姿勢を作ること、不安を抱える医療者が助けを求めやすくなる。

身近な先生に相談しづらいが、遠い関係の先生方から質の高い話を聞ける機会が貴重。

女性の意見と事例を知り、意識改革の促進となる機会

男性社会で女性の意見を聞く場面が少ないため、さまざまな事例を知る機会は貴重で、指導医の先生の参考にもなると思う。

管理職クラスの先生方の意識改革が必要。

性別に関わらず、女性医師のワークライフバランスを考える機会が状況改善につながる。

スキルアップとキャリア支援

女性医師に限らず、キャリアアップやキャリアを知る機会が卒後のキャリア選択に有益で需要は大きいと思う。

外科医としてスキルアップするための具体的なコツを学べる貴重な機会、非常に勉強になった。

現状の把握と改善

男女ともに仕事でも家庭でも活躍できる社会を作るため、現状を把握し、改善する必要がある。

ご意見ご感想

- 外科に興味がある当院の女性研修医が参加し、具体的なイメージを持つことができたと思います。進路が決まる前の春から夏ごろの開催もいいと思いました。
- 外科医になる上で学生のうちに教われて本当に良かった内容ばかりでした。先生方のお話が面白く、2時間があっという間でした。お忙しい中、講演会の企画に関わってくださった先生方、ご講演いただいた先生方に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。
- 消化器外科学会のメーリングリストで今回の企画を知り、当院の女性研修医とともに参加しました。ちょうど進路に悩んでいるところであったため、非常に参考になったようです。消化器外科を勧める私にとっても、力強くバックアップしていただいた内容でした。ありがとうございました。